

## 松田 隆行 教授

研究 業 績

2023年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（共）	「引化・嘉永期における異国船取扱方と打払令復活問題」『明治維新と西洋国際社会』明治維新史学会編、吉川弘文館、36～61頁	1999. 2
著書（共）	「戦時体制 国家総動員体制と国民」『日本近代史概説』、奥田晴樹編、弘文堂、173～188頁	2003. 12
著書（共）	「史料に見る八木家の由緒と新選組」『京都壬生八木家の歴史1 八木家と新選組』、角川学芸出版	2006. 12
論文（単）	「幕末における海防政策の展開－阿部正弘政権の歴史的位置をめぐって－」修士論文、慶応義塾大学大学院文学研究科、136頁	1994. 3
論文（単）	「三浦半島における海防政策の展開－ペリー来航前後を中心に－」『神奈川地域史研究』第12号、18～42頁	1994. 3
論文（単）	「海防体制下における村方の動向－ペリー来航前後の三浦半島を中心に」『地方史研究』第257号、55～72頁	1995. 10
論文（単）	「福井準造の思想的原点－日清戦後の『知識人』とナショナリズム・社会主義・農業－」『近代日本研究』第14巻、慶応義塾福澤研究センター紀要、1～30頁	1998. 3
論文（単）	「『町村会議議事録』にみる町村行政の展開－明治・大正期の鹿沼町－」『かぬま 歴史と文化』第4号、鹿沼市史研究紀要、17～30頁	1999. 3
論文（単）	「鹿沼町御成橋地区の住民組織についての歴史的考察－町村制施行から戦時体制まで－」『かぬま 歴史と文化』第6号、鹿沼市史研究紀要、34～50頁	2001. 3
論文（単）	「近代地方都市の成立と地域住民組織」『花園史学』第23号、46～78頁	2002. 11
論文（単）	「近代地方都市における電灯料値下げ運動の展開－栃木県鹿沼町を事例として－」『竹貫元勝博士還暦記念論文集・禅とその周辺学の研究』、永田文昌堂	2005. 1
論文（単）	「近代都市における住民組織研究の視角」『花園史学』第29号	2008. 11

論文（共）	「下京・梅忠町の家屋敷景観の復元および家督相続の実証的研究」『花園大学文学部研究紀要』第43号	2011. 3
論文（単）	「大正天皇の『御大典』と地域社会—天皇の即位儀礼と国民統合—」『花園史学』第32号	2011. 11
論文（単）	満州事変と地域社会—軍部の国民動員員・国民統合と町村・住民組織— 『花園史学』第35号	2014. 11
論文（単）	幕末京都における新選組—組織的権力と暴力— 勉誠出版、『アジア遊学』第189号	2015. 9
論文（単）	ペリ一来航前後における対外政策と「武威」—異国船渡来と「御威光」— 『花園史学』第42号	2022. 2
その他（共）	『鹿沼市史 資料編 近現代1』鹿沼市	2000. 3
その他（共）	『日本銀行所蔵銭幣館古文書目録』日本銀行金融研究所、108頁	2000. 7
その他（共）	『鹿沼市史 資料編 近現代2』、鹿沼市	2003. 3
その他（共）	「岡山孤児院大阪事務所の開設（上）—日誌 自明治40年1月至明治41年3月」『四天王寺国際仏教大学人文社会学部紀要』第35号、（小笠原慶彰・小野修三）、27～47頁	2003. 3
その他（共）	「岡山孤児院大阪事務所の開設（下）—日誌 自明治40年1月至明治41年3月」『慶應義塾大学日吉紀要社会科学』第13号、（小笠原慶彰・小野修三）、42～72頁	2003. 3
その他（共）	「出入橋と愛染橋の明治42年から44年—岡山孤児院大阪事務所の日誌」『慶應義塾大学日吉紀要社会科学』第14号、（小笠原慶彰・小野修三）、92～144頁	2004. 3
その他（共）	書評「鈴木康子著『近世日蘭貿易史の研究』」『花園史学』第25号	2004. 12
その他（共）	『八郷町史』八郷町史編さん委員会編、八郷町	2005. 3
その他（共）	『鹿沼市史 通史編 近現代』鹿沼市史編さん委員会編、鹿沼市	2006. 2
その他（単）	「歴史への窓 開港150周年の横浜港」『花園史学』第30号	2009. 11
その他（単）	新刊紹介「吉田清『日本人の一生—初心者のための宗教民俗学入門』」『花園史学』第31号	2010. 11
口頭発表（単）	「三浦半島における海防政策の展開と村方の動向—ペリ一来航前後を中心に—」、明治維新史学会第24回大会、於：茨城大学	1995. 6
口頭発表（単）	「近代地方都市の展開と地域住民組織」、第22回花園大学史学会大会	2002. 11

口頭発表（単）	「満州事変と地域社会」 第34回花園大学史学会大会	2014.11
口頭発表（単）	「日中戦争と地域社会」 第36回花園大学史学会大会	2016.11

---